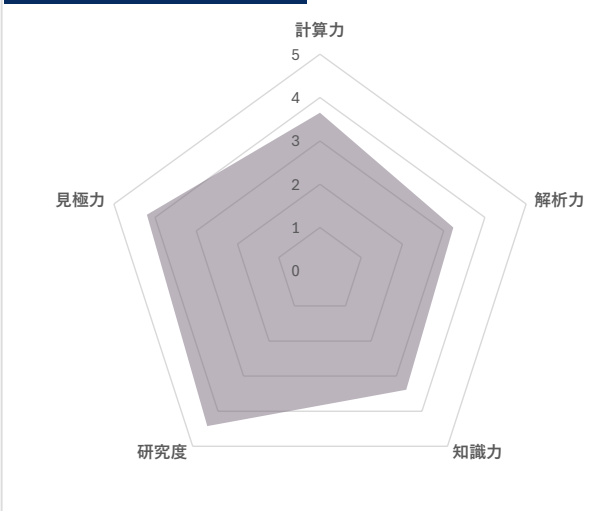


総合分析

試験区分	一般 (前期1)		
制限時間	60分	大問数	全 4 問

合格に要する能力 (5段階)



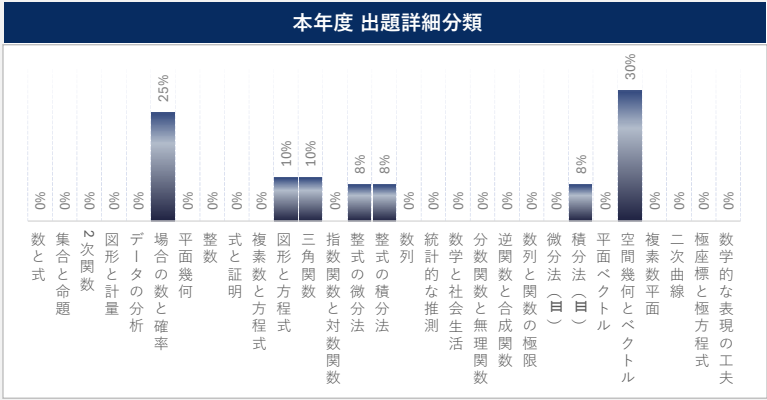
合格に要する能力 (5段階)		
計算力	3.7	高度な計算をやり遂げる力
解析力	3.2	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.4	解くことに必要な知識の量
研究度	4.4	過去問研究が生きるかどうか
見極力	4.2	解きやすい問題を選択する力

特記事項 特になし

出題分野	
数学 I	0%
数学 A	25%
数学 II	37%
数学 B	0%
数学 III	8%
数学 C	30%

本年度 解答形式
マーク 100%

本年度出題テーマ一覧	
第 1 問	サイコロの確率
第 2 問	2直線のなす角と面積比
第 3 問	空間ベクトル
第 4 問	微積分(III)



特殊問題の有無	記述なし	証明なし
統計なし	数IIIあり	長文なし

総合評価			
難度	3.7	最難を5とする問題自体の難度	やや難しい
分量	85分	完答に要する時間 (制限時間は60分)	多い
一次合格に必要な正答率 (予想)			68%
高い正答率を要する			

入試の特徴と対策

- ▶ 入試問題としてありふれた題材が多い。単純に演習量で十分に対策できる。
- ▶ 少ない単元の知識で解けるものが多い。単元ごとに公式を確認しておこう。

入試から見る 大学が求める学生像

標準的な問題が多いが試験時間に対する分量は多いため、処理能力の高い学生を求めていると考えられる。